

2015

8月号

念仏のこころに生きる生活を

高岡教区

# 教区報

## 二〇一五(平成二十七)年度 臨時教区会の報告

去る七月十日、西本願寺高岡会館礼拝堂

において平成二十七年年度臨時教区会が開催され、平成二十六年年度高岡教区各種会計の決算について慎重審議の上、承認可決をされました。また、その後、教学財団決算について報告をされました。

### 平成二十六年年度一般会計決算について

決算の内容について、教区一般会計の総額では、平成二十七年年度に繰越される二十六年度剰余金が2,950,689円となりました。

一般会計の歳入では、全体で、予算額に対し、588,216円の増となっており、願記手数料や在家免物委託事務費の減額もあり、二月に特別会計「平衡資金積立会計」からの二〇〇万円と特別会計「教材作成費会計」からの一五〇万円を一般会計に回金する予算補正を行っていることによるものです。

一般会計の歳出、実践運動推進費では、実践運動関係会議費増により増となりましたが、三月の予算補正の折に大幅に予算を減額をしたために予算超過となりました。会議費では、諸会議費で年度当初に予算化していなかった教務所長歓送迎会経費の支出がありました。予算補正し、ほぼ予算通りの支出となっています。教務所

費のうち、人件費はほぼ予算額通りの執行でしたが、事務費の通信費・出張交通費が予算よりも超過して支出しております。その他の費目については予算額通り執行いたしております。

### 平成二十六年年度教区特別会計決算他

次に、教区特別会計の決算につきまして、前述しましたように平衡資金積立会計より一般会計に二〇〇万円回金しております。転退職積立会計は支出がありませんでした。災害対策費では、広島豪雨災害見舞金と東日本大震災関係の会議費の支出をいたしております。教化資料作成費では、頒布収入で本願寺出版物等増によって増額となっておりますが、一般会計へ回金をしたために昨年度より繰越金が減額となっております。キッズサンガ推進費では、研修費より、福島の子供たち夏休みホームステイ事業経費(平成二十五年度分)を支出(一十六年度より教区支援金からの支出に変更)、平成二十六年年度では、会議費・組事務費を支出いたしました。

以上が、平成二十六年年度教区各種会計決算の概要です。

次に平成二十七年年度各種会計予算補正につきまして、これまで任意会計であった「免物会計」を閉鎖し、全額の17,15

1,787円を一旦、教区一般会計に繰り入れ、高岡教区教学財団へ一〇〇万円、特別会計「平衡資金積立会計」へ四〇〇万円、残り3,151,787円を特別会計「免物会計」を新設して繰り入れるという予算補正をいたしました。

その他の報告事項として、「災害対策委員会からの報告」があり、平成二十六年年度活動報告並びに支援金の現況報告、今後の活動予定の報告がされました。また、平成二十六年度高岡教区教学財団の活動報告・決算報告がされました。

### 教学財団関係

去る六月十五日、西本願寺高岡会館研修室において平成二十七年年度一般財団法人浄土真宗本願寺派高岡教区教学財団理事会が、また、六月三十日、同評議員会が開催され、平成二十六年度教学財団事業報告並びに各種会計の決算について慎重審議の上、可決承認されました。

平成二十六年度高岡教区教学財団各種決算について、まず、事業活動収入において、受取会議費で、教学研究室賛助会費が予算額に対し五十八万五千円の増となっておりますのは、新法人となり、定款にもとづく新たな教学研究機関設立のために、賛助会員の新たな募集が行われたためです。また、事業収入の講座受講料収入では聖典セミナーが未開催であったため、受講料収入が無く未執行、

次ページへ

受取賃貸料収入では、三十件の会館使用料等の収納をいたしました。補助金等収入では教区からの助成金を、寄付金収入では永代経・報恩講・常例法座（十二回）の懇志を収納いたしております。次に、事業活動支出では、事業費支出のなか、通信運搬費支出においては主に郵送料の支出、修繕費では、会館清掃料、ダスキン使用料等の経常経費のほかトイレのドア故障など緊急の経費も支出しております。印刷製本費支出では、教区開発室の研究活動がないために経費の支出はありません。光熱水料費支出では、電気・ガス・水道料金の支出、保険料支出ではJA火災保険料の支出をいたしました。諸謝金支出では、各種講師礼等を支出、負担金支出では会館永代経・報恩講等の供物・仏華・弁当代・その他を支出いたしました。助成金支出は、教区児童念仏奉仕団に対する助成金です。雑支出で、新法人設立にもなつ登記料を支出いたしました。管理費支出のうち、消耗品費はカレンダー購入の支出です。

以上が、平成二十六年度教学財団各種会計決算の概要です。

また、予て懸案でありました「教学財団百周年記念史」については、教学研究室にて年度を通じて執筆、編集作業が行われましたが、平成二十六年度内での刊行が間に合わず、次年度初頭の発刊を目指し引き続き作業を進めることを報告、了承されました。

以上  
各種決算書を別紙に同封しておりますのでご覧下さい。

## 仏壮連盟育成研修会が開催

仏壮連盟では、教区内寺院に仏壮の単位会結成の呼びかけや次世代の育成のために育成研修会を行っている。今回、この研修会に参加された射水組金山仏壮の道徳 将さんに研修会の報告を戴いた。梅雨明け間近の去る七月十九日、西本願寺高岡会館で教区仏壮連盟主催の仏教壮年育成研修会が盛大に開催された。研修テーマは「葬儀が終了しました。」をどう思いますか？」と、「御同朋の社会をめざす」とは？」の課題で学びを深めました。

午前中は、「葬儀が終了しました。」をどう思いますか？」で小竹勝則理事長の問題提起に始まり、各班に分かれ意見交換、集約そし、全体会の発表を終え岡西法英師の助言と所感を拝聴して午前の部の終了となった。

午後、御同朋の社会をめざす」とは？」のテーマで岡西好持師の問題提起をうけ、班別協議に入り全体会では各班の熱意のこもった発表が印象に



残った。最後に浜野信宏師の助言とまとめを承り一日の研修を終えた。

私たちをとり巻く様々な差別問題が横行するがそれは自我、全て自分が優位に立とうとするからであり、相手を思う心が無い限り差別問題は無くならない。「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」の格言の如く思いやりが大切である。知っている様で知らなさ過ぎるのが世の常、生涯勉強であり、有意義な一日であった。

## 中央教修了者のつどい

去る八月三日、西本願寺高岡会館礼拝堂に於いて「中央教修了者のつどい」が開催され、門徒推進員二十五名が参加し、学びを深めた。

今回のテーマは「いのちの大切さを伝えよう」とは？。若神組門徒推進員の蔭島章さんからの問題提起では、人間は無意識の内に利用価値などによって「いのち」に対して軽重の分別を付けているのが実態で、多くの生命をいただいても生きているが、そのことに無自覚であることも珍しくない、と指摘。いのちの大切を伝えるためには、家庭で「食前・食後のことば」を一緒に唱えるなどの取り組みや、家族の臨終の場面に立ち会うことが、生命の大切さや本質を理解するために大きな役割を果たすのでは、と述べられた。

次ページへ



また、日本は戦争を放棄し、七十年間戦死者を出していないのは素晴らしいことであるとし、自分だけでなく他者のいのちを大切にするという仏法の精神からすれば、いまの安保関連法案もまさしく念仏者の課題であり、いのちの大切さを伝える営みであると提起された。

それを受けた話し合い法座では、「自分や家族の老病死の場面に遭って生命というものを実感するが、逆にそういう状況にでもならない限り、いのちの大切さを自覚することは無いような気がする」「出生前診断はまさにいのちの価値の軽重を決めるものである」「『いのち』が『物』として消費される社会になっている」「相手を尊重するという視点こそいのちを大事にするということではないか」「戦争につながりかねない昨今の政治状況に対して仏教徒として何かアクションを起こさねばならないのでは」といった意見が出された。

講師の栗山宣雄さん（川上組本福寺住職）の助言では、「釈迦が自ら悟ったことを『伝えた』ことが仏教の始まりだったように、『どう伝えるか』ということが決定的に重要で、浄土真宗も『回向』の宗教であり、自分自身のエゴに埋没するのではなく、他者との関係性を非常に大事にする教え」だとし、『おかげさま』で完結するのではなく、『いのち』というものが問われる様々な現代社会の問題から目を逸らすこと無く、学び続け聞き続けてほしい。そしてそれを身近な人に伝えていただきたい、と助言された。

## 全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇一五が開催

七月三十一

日（金）午後六時半から、

『全戦没者を

悼み平和を願

うつどい二〇

一五』が、西

本願寺高岡会

館礼拝堂で、

各寺院や関連

企業より懇志

や協賛金を戴

く中で、開催された。

二十二回目を迎えた今回は、戦後七〇年記念として、ピアノが奏でる平和への願いというテーマのもと、約一六〇名の参加があった。

これは、広島に投下された原子爆弾によって被爆・破損したピアノを、調律師である矢川光則さんが修復し、元の音色を奏でた「被爆ピアノ演奏会」、つどいに先がけてさくら保育園年中児がピアノを触れたり、歌を歌ったりした。

第一部『全戦没者追悼法要』では、西岡孝了教務所長の調声のもと、第一・第二ブロック（水波・関野・伏木・新湊・五位・射水組）の出勤をいただき、各教化団体代表者をはじめ、つどいに参加された方々全員が正信偈のお勤めの中、焼香をさ



れた。

第二部『平和を願うつどい』

では、高岡龍谷

高校生による、

絵本「ミサコの

被爆ピアノ」と

峠三吉『原爆詩

集』の朗読、矢

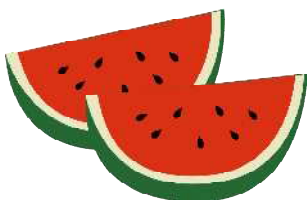
川さんのお話し

と続き、ピアノ

スト竹内佳代さんによる演奏会が行われ、ショパンの曲が会場全体に広がり、厳かな雰囲気であった。



参加者を包んだ。  
（詳細は実践  
運動のコーナー  
で）



# 東日本大震災第十六次支援隊報告

福島市・南相馬市

ていました。

二日目、そば打ち

ユニティや人間関係は変化

七月二十一～二十三日、教区災害支援第十六次隊として、福島県南相馬市と福島市にある福島県復興支援宗務事務所を八人で訪問してきました。今回の活動内容は、南相馬市鹿島区にある小池長沼応急仮設住宅にて、富山そば研究会の皆さんによる「ひきたて・うちたて・ゆでたて」のそばを召し上がっていただくことと、今後の支援活動を模索するため、現地の状況を聞き取り調査するというものでした。

のために仮設住宅の集会場にお邪魔すると、周囲の状況が去年と変わっていました。それは、新築住宅が仮設住宅の周辺に何軒も建てられており、多くの工事関係者の姿が見えたことです。それと同時に仮設住宅にも工事関係者が仕事されており、聞くところ、耐久年数が二年の仮設住宅に四年以上住んでいると、床下が腐ったり、各部が壊れて修復作業が必要、とのことでした。

しているといことをお聞きしている中、勝縁寺の湯澤住職(相馬組組長)が、「五年を目処に『支援』という形に

これまで毎年十一月に訪問していた現地は今回、夏ということもあって、気温も景色も異なり、日没も遅かったために、初日に通過した飯館村の状況をよく見ることができました。特に広大な村内の至る所に除染

そばを召し上がられたみなさんに聞いてみると、福島第一原発から三〇km圏内で津波によって家族や家を失った方は、次々と家を再建され、仮設住宅から出て新生活をはじめているとのことでした。一方で二〇km圏内で放射能被害と津波の被害を受けた避難指示解除準備区域及び居住制限区域の方は、八月三十一日まで特例宿泊期間ということで各家に戻って生活しているとのこと。しかし、その地域は除染

か」と提案して下さいました。



した土壌を入れた黒い袋(フレコンバッグ)が無数に積み上げられており、原子力事故の影響の大きさを改めて実感しました。しかし、携帯した放射線測定器は依然として人が住める状況でないことを示

作業は遅々として進まず、居住制限されているところに申請すれば期間限定で帰ることができる、という被爆のことは一切考慮しない政策が行われている。そして国は、来年三月三十一日をもって避難を解除する方向のようです。

二日日夜には鹿島区の勝縁寺さんを訪問し、小高区の光慶寺さんと原町区の常福寺さんのご住職、ご門徒と交流会をいたしました。時間の経過とともに複雑になる状況の中、「復興」への道は険しく、「コミ

浪江町常福寺の広畑副住職よりお話を伺いました。ご門徒さんたちは、避難先でいわれなき差別を受け、浮き草のように居場所を探し、アイデンティティを失いかけているなか、宗務事務所が集うところが何よりの歓びと感じ、そして相馬移民のルーツからの支援は大変心強いとおっしゃいました。

毎回、凄まじい早さで再建されていく防潮堤とは対照的に大事な問題が放置され、苦悩が複雑化する現実はどうすればいいのかますます分らなくなった今回の支援活動でした。

(若神組主幹・飛鳥寛静)





## 御同朋の社会をめざす運動の「コーナー」

### 「音楽は平和を願う力」

戦後七十年。平和と平等が広がっていたと思いきや、逆にあらたな戦前の様相の昨今。しかし二十二回目となる平和を願うつどいも、倦まず弛まず続けられてきた。これも一つのブレーキを果たしてきたはずであろう。

この七月三十一日夕刻に全戦没者を追悼する法要が行われた。一六〇人余が参加され、正信偈を誦し焼香をした。

第二部は、ピアノ演奏を中心に詩の朗読などが行われた。ピアノの奏でる平和への願いを、ヒロシマの原爆の下を生き延びたピアノを語り部としての演奏会。

会場せましの二十代から八十代の大勢の参加。アンケートも女性四十八通、男性三十六通、計八十四通。その殆どの方が「良かった」のお答えであった。

「とても良い音色で心にジーンと響きました。学生さんの詩の朗読も良かった。この良き縁をきっかけに平和への思いを強めると共に、何か行動に移さなくては、と思いました」「小中高生に聞かせてあげたい……」「音楽は平和への思いを率直に表現してくれているように思えた」「ピアニストの弾き語りとその思いが感動に、胸が熱くなりました」「被爆ピアノ自体が歌うを聞くのは初体験でした。ピアニストの竹内さんの涙がその証し……」「平和を願うつどいの趣旨が良く分かった」「龍谷高校の学生さんの詩の朗読がよかった」「矢川氏の淡々と語られる話に深みがあり、過去は変えられないが未来は変えられる……の言葉を重く受け止めた」「演奏は素晴らしいが、私たちの平和への願いが、政府に対し歯止めになるのだからつか」

感想、ご意見の一部である。書籍販売にあった『ミサコの被爆ピアノ』の物語がプロジェクターに再現され、多彩な企画内容だった。

空気の振動で音を発し、音の高低・長短・音色が音楽として高まったのであろうが、瞬時に消えてしまう瞬間の芸術である。絵画などのように立ち止まり、後戻りしての鑑賞とはならないが、不思議に心の琴線に触れ、全身が音に包まれホールを出ても暫く歩きたくなくなるがある。参加した人々一六〇通りの音が、それぞれの心のなかに響いていたに違いない。そのことが、また聴きたいね、三回か五回に一度くらいあっても良いね。平和は深さよりも広さが、より大勢の人々の手にあるはずだ。

「分かっちゃいるけど……」、頭（理性）で理解しているつもりでも腰が上から下へときもあれば、身体の方が先に動いていることもある。まことに人間ってややこしい。

今年のつどいの企画立案もその事で悩み大変だった。ピアノ・音楽による感性で、平和の課題が受け止められるだろうか。言語を通して語り出すの方が深く理解されるのでないのかとの思いも強い。


感性と理性の葛藤と、バランスが問われる。どちらか一方に偏るとその中で分裂が生じやすい。かつて日本を代表するオーケストラが分裂したことがあるが、感性の世界であれ理性の分野であれ珍しいことではない。

初めて音楽鑑賞に取り組んだ「平和を願うつどい二〇一五」。参加された方々に「良かった」との声を頂いたが、いつの時代も大きな力をもった人達が平和をもたらしたのでなく、戦火の下を這いまわり生死の境を生き延びた弱い人々の願いと行動が、平和への糸を繋ぎ紡いできた。

平和と平等を願い、こころ豊かな安穩な世の中を求める万人の思いを、実現するために、教区委員会はこの取り組みを大事にしたいと思っている。

【ヤスクニ問題専門委員会委員 加藤悦夫】

これからの日程 ( 8 / 1 8 ~ 9 / 2 0 )

8月		
18		龍谷大学宗育部巡回 ( 1 8 ~ 2 8 )
20	聖典セミナー ( 5 回目 )	ブロック講社研修会 ( ~ 2 1 ・石川 )
22		B 保育大学講座 ( ~ 2 3 ・富山 )
23		
24	富山仏教学会例会	
26	非戦・平和学習会 ( 4 回目 )	
27	長寿苑ビハーラ活動 得度習礼講習会 ( ~ 2 7 ・福光 )	<b>14 日の常例法座は ありますが、8月 14~17 日まで、教 務所事務休業いた します。</b>
	キッズサンガ小委員会 仏婦・寺女合同研修会	
28	寺青手話サークル	
29	本山杯野球大会・懇親会	
9月		
1	組長・教区会合同会議	
2	雨晴苑ビハーラ活動 寺青役員会	北陸ブロック組長会 ( ~ 3 ・福井 )
3		
4	僧研スタッフ研修会	
5	連区仏青研修会 ( ~ 6 )	
6		
7	教区コーラス練習日	連区仏婦連絡協議会 ( ~ 8 ・東海 )
8		連区布教使研修会 ( ~ 9 ・福井 )
9	第 1 回ビハーラ研修会	
10	寺青連研	
12	伏木組実践運動研修会	連区ビハーラ研修会 ( ~ 1 3 ・岐阜 )
13		
14	常例法座	
15	聖典セミナー ( 6 回目 )	
16		
17	第 1 7 回平和を願うつどい ( 築地本願寺 )	
	千鳥ヶ淵法要団体参拝 ( ~ 1 8 ・第 2 ブロック )	千鳥ヶ淵全戦没者追悼 法要
19	僧侶研修会 ( 1 回目 )	
20		

ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 ( K N B ) ・ 7 3 8 kHz.  
毎週土曜日 ( 本山制作 ) 午前 6:15 ~ 6:25  
第 2 ・ 4 日曜日 ( 富山・高岡制作 ) 午前 6:00 ~ 6:10

8 / 15 ( 土 ) : 小澤アテナ ガブリエラ 氏  
( 本願寺派布教使 )

「阿弥陀さまの本願に生きる」

8 / 22 ( 土 ) : 寺本 ベッティーナ 氏  
( 大阪府・極楽寺 )

「ドイツ生まれのお坊さん」

8 / 23 ( 日 ) : 瀧山 志穂 氏 ( 高岡教区・願正寺 )

8 / 29 ( 土 ) : 寺本 ベッティーナ 氏  
( 大阪府・極楽寺 )

「建築家から見たお寺の魅力」

9 / 5 ( 土 ) : 寺本 ベッティーナ 氏  
( 大阪府・極楽寺 )

「坊守としてお寺のためにできること」

9 / 12 ( 土 ) : 未 定

【西本願寺高岡会館9月の常例法座】

ご講師: 真 敷 祐 孝 氏  
( 新潟教区・雲外寺 )

ご講題: 『本願を信じ念仏申さば仏になる』

午後 1 時 2 0 分頃からビデオ上映、2 時から  
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い  
あわせてお参りください。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょう  
か。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。  
一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 ( 1 7 5 袋 ) 8 , 3 0 0 円

・大 箱 ( 3 6 袋 ) 2 , 3 0 0 円

・ 1 組 ( 1 0 袋 ) 5 0 0 円

お申込み先は・・・〒933 - 0878

高岡市東上関 4 4 6 高岡教務所内

Tel. ( 050 ) 5587 - 7708 ( 代表 ) Fax. ( 0766 ) 21 - 5152

